

II. 工学部の創部の趣旨

本学は 2014 年に創立 90 周年を迎えた学校法人北海道科学大学を設置母体とし、これを契機に新たな将来構想のもと「北海道と共に発展・成長する北海道 No.1 の実学系総合大学」を目指している。実学とは、学問によって物事の真の姿を解明し、それに基づいて自ら判断する能力を養う学問を指し、そのためには北海道すべての地域がキャンパスとなる「実学」の学びの場として、本学は理想を具現化し、北海道の、そして学生たちの未来に貢献するためにさらに進化を遂げなければならない。

しかし、現代の技術進歩の早さは、数年先の到達点すら予測できないほどであり、このような時代をリードしていくためには、単なる職業人ではなく、豊かな人間性や倫理観などの「基盤能力」を備えたうえで、各分野の「専門性」を身につけた“+Professional”な人材育成が必要である。

北海道科学大学工学部は、機械、情報、電気電子、建築及び都市環境など工学に関する諸分野が連携及び特徴を生かした教育研究を担い、人材養成の目的を達成するものである。すなわち、専門領域の基礎知識群と学びの先にある学術成果を獲得し、それらを社会における諸問題の解決に応用する能力を持ったスペシャリスト、そして幅広い教養を身につけ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、発展・改善してゆく高い資質を持ったジェネラリストの育成を果たすものである。